

	<p>2020（令和2年）第1回奥出雲町教育委員会定例会会議録</p> <p>日 時 令和2年1月22日（水）</p> <p>開 会 16時30分</p> <p>閉 会 17時30分</p> <p>場 所 横田庁舎 三階 第二委員会室</p> <p>出席委員 福田充雄教育長職務代理者 荒金勇吉教育委員 谷尻圭子教育委員 高橋美奈教育委員 塔村俊介教育長</p> <p>委員会事務局 永瀬克己結婚・子育て応援課長 長谷川史郎教育魅力課長補佐</p>
塔村教育長	<p>（挨拶）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問参加へのお礼 ・県の少人数学級見直しについて <ul style="list-style-type: none"> *基本的には少人数学級の見直し反対の立場は変わらないが、最終的には妥協点 と言うか結果を受けざるをえないというところではあるが、仮に見直しをする のであれば、今の人数あわせのようなやり方ではなく、教育委員会も主体的と なって、子ども達のためになるような形を提案していきたい。 ・三成小学校の改築、再編の検討状況について <ul style="list-style-type: none"> *町議会も今年度は学校再編をテーマに視察に行かれて提言いただいた。詳細は 後ほど議題のほうで説明していく。 <p>※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言</p> <p>※会議録署名委員 谷尻委員</p>
事務局	<p>《議事》</p> <p>①報告第1号 三成小学校改築事業の見直し状況について（経過報告） （資料なし）</p> <ul style="list-style-type: none"> *現在の考え方について教育長から説明いただく。また、2月に自治会長会連合 会の中で、今の検討状況と今後の進め方について報告する予定。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・学校再編方針の修正について、様々な意見を頂いている。三成小学校の建築条件、 様々な案の中でメリット、デメリット、期間、コストを検討している。昨年再編 方針を発表したところではあるが、もう一度原点に戻りたいという思い。出生数 も2年続けて60人というところ。今年度は50人少しという状況。出生数の減

というの厳しい状況。そのような中で、今の学校の良さを活かしながら、複式がダメというところではなく、奥出雲のよさを出していきたい。

- ・一方で、出生数が50～60人、今の小中学校80～90人という田舎と比べても3、4割減ということになる。学年一人だけとか男子・女子だけとかそういうことが出てくる。その中で子ども達の環境を考えると、現状の出生数のまま学校を維持していくのは不可能であるし、コミュニケーションも含めた教育環境を考えると再編も含めた検討が必要じゃないかということが、保護者、町全体にも理解は頂いているところ。
- ・去年の再編方針については新聞報道で知ったということが大きいということもあるかもしれないが、勝手に決めているという印象をもたれたように感じる。やり方の改善と言うか、根本のところでは理解を得られていると思うので、慎重な方法で皆さんの理解を得ながら進められたらと思う。
- ・再編方針の見直し、詳細については今後また詰めていきたいが、現在の考えを少し示しておきたい。

①再編の時期

*第一回の再編方針では2022年で議論してきたが、再編に向けた不安と住民理解を得るためにはもう少し時間が必要と思う。現実的に、新たな校舎を建てるとなるとかなりの時間がかかる。期間については議論いただきたいと思う。再編後に2校にしていこうというのは堅持したい。その期間については、開校の時期を5年から10年についての時間をかけてやっていく。それくらいの時間をかけて、各校区での議論を1～2年で納得いただけるまで議論していただくのが良いのではないかと考えている。

②三成小学校の改築（再編後の仁多地域受入小学校）

*先月のところでお示した三成小学校、将来的には仁多小学校（仮称）をどの場所にしていくのか、絞って提案するのではなく、皆さんと議論をしながら進めていけたらと思っている。

*初めのところで場所が決まっていなくて議論できないじゃないかというのがもちろんあった。再編の話を難しくしているのは建て替えと耐震化、統合が複雑に入り混じっているということが一つの理由であった。再編に向けてしっかり議論する中で、校舎の場所についていろいろな意見が出ると思うが、議論する中で定まっていくなのではと思う。

③その他

*これまで不安定であった放課後児童クラブ、バス路線、通学バスについてもたたき台として示していくつもり。具体的な議論の場として校区别協議会を立ち上げてやっていくということでやってきた。これまでもなかなか立ち上

<p>事務局</p> <p>塔村教育長</p>	<p>がらない中で、地区で勝手にやってくれというつもりはないが地区の力を借りすぎるということではなく、今まで以上に教育委員会、町として運営について携わっていく支援していくというような形を取りたいと思っている。</p> <p>*あわせて各校区別協議会だけではなく、再編方針や学校建設、各地区の情報交換をしていただける町全体の協議会というか委員会のようなもの（校区別協議会代表会議）をたちあげていきたい。</p> <p>*住民を対象とした教育版のタウンミーティングのような会をしたい。各地区から「奥出雲町がどういう教育を目指していくのか」「どういう学校環境でやっていくのか」しっかり示してほしいという要望があった。非常に大切なことと認識しており、今回奥出雲町総合計画、総合戦略を見直す時期に合わせ、このような機会を持ち、住民の皆さんの意見をいただきながら、根本となる教育理念について、(教育理念とか教育大綱とか奥出雲の教育というところで定められてはいるが) この一年かけてしっかりと作っていくという方針を採りたいと思っている。</p> <p>【教育長説明 補足として】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この考え方について、教育委員会事務局で課長を含めた中で議論して、まず原点に返るという話があった。 ・H21年の答申に「複式学級の良さはあるものの、増えていく状況が見えている中で、教育環境として複式より単式が望ましいため、再編をしていかなくてはならない」とあった。 ・去年のところで再編方針をまとめ、「この時期にまで再編したいと考えます」という提案をした。その際、「各地区で自分ごととして考えて、検討して、結論をだしていただきたい」と伝えているが、その考えは今回も変えない。有無を言わず「この案で行く」という決め付けはしない。 ・ただ、最初の提案よりも、協議意向とりまとめにどうしても時間はかかると推察している。目安として、再編後の学校がスタートするまでに5～10年。 ・三成小学校の改築についても、以前3つ例示させていただいたが、この3つに絞りましたという形で提示するつもりではない。 <p>・5～10年と言う話が出たが、当初方針を本当に実現しようと思ったら、それくらいかかってしまう。一方で、児童が急激に減少する学校があるのも確か。5～10年ではなく、もう少し早く再編してほしいという意見が出てくる可能性もある。もともとの考え方は早いほうにあわせるということで、スケジュールを設定していた。しかしその一択だけというのはかなりの反発があった。もう少しはやくしたいというのがあれば柔軟に協議していくというのはあると思っている。</p> <p>・修正方針の出し方として、最初は教育委員会として出しているが、できれば修正案は奥出雲町教育委員会として、町と一体となってやるということをしっかり伝えていきたい。これについても去年説明会をする中で、何故町長が来ていないの</p>
-------------------------	---

	<p>かなど反発があった。体制についても教育委員会内での体制をしっかりと構築していきたいし、町全体としてもしっかりと構築していきたい。</p>
荒金委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現実的には、段階的統合もありながら、最終的には2校、最終的とは言い切れないがそこが着地点というイメージでいいのか。鳥上の入学生の現状とか見ると、きっちり議論しないでも一緒になるところは出てくる可能性がある。ほんとに極小規模のところも早くしてねという気持ちもあるところもある。それを叶えていくということ、子どもの教育環境をベストじゃないかもだけどベターなものにする歩みを止めないということ、でよいか。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおり。
高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・10年というのは、10年後に2校？
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・それさえ普通の感覚で行けばようやくというところ。
高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・（三成小改築の）場所も議論してもらうとなるとすごく時間がかかるのでは。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・それは平行して進める。
高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・でも、建てるのに一から始まる。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・最速で着手が令和3年から。それも1年で（再編への意向とりまとめが）決着すればの話。先月も言ったスケジュールの話。場所に決着がつかなければもう1年ということになる。 ・来年度なにかアクション（設計・交付申請）をするというのが実質不可能。当然もっと早く建てるという声が出てくると思う。
高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私は場所を示したほうが良いと思う。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・考え方として話をすると、場所で揉めると再編自体が崩れる。場所については、誰でも（「ここがベスト」「いや、こっちがもっといい」など）議論が出来てしまう。再編以上にどの場所が良いかは誰もが言える事。自分の案が一番良いと思っているから、合意形成が難しい。最後どうするかは腹を決めてやるしかない。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・町の姿勢として出さないと、皆言いたいことがある。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・当初は（住民の皆さんから）意見を言ってもらう場があると思う。

谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いてあれこれ考えた結果「ここにしたいと思う」という町の決断が必要。みんなの話をあれこれ聞いて投票で決めるとかそういうのはありえない。利害関係もある。子ども達のためにどこが一番良いかというのが一番。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの三成小の移転の手法もそうだが、揉めるからこそ議論せずはこちらで決めようとしたところもある。スピード感をもってできるということもあった。が、再編の進め方もそうだが「揉めるからこそいろんな意見を出してもらおう。そしてそれを最後にちゃんとまとめる。」というやり方もある。考え方は両方ある。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・場所決定が先だとは思う。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・そう思っていた。ただ、再編の議論が場所ばかりになってしまうのは避けたい。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・本末転倒になる。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・場所を決めるというのは、学校機能として何を求めるのかということ。どんな場所でも良いという考え方もあると思う。安全性とかコストの問題、期間の問題も出てくるかもしれない。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・協議する中で、たぶんどこにするのかという話は出ると思う。「それを置いておいて（協議しよう）」というわけには行かないと思う。基本的には教育長の考えで良いと思うが、期間は5年を目途でいかないと、誰も本気で話をしないだろうと思う。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・10年はちょっと（長い）。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり長くなると、今の2，3年生の親が自分たちは関係ないという形になりかねない。やってみて長くなる分はあるにしても、最終的にはこの辺で、5年後にはある程度開校できるような形のものを想定しながら、どれくらいの規模の学校になってどういう願いを持って、職員組織としてはこれくらいの人数で学校を運営していくというような、ある程度学校の姿というような5年後の姿を出す。10年後の姿も必要かもしれない。 ・個人的には、知事が何を考えているか分からないという思いが強い。加配運営のような話もしているが、個別具体のケースを想定しているのか、支援を要する子どもはどういうケースなのか全く見えないのでやりにくい、今の定数方の中でやるしかない。一応数合わせで30人と38のところで、想定してこうだということではやるしかない。 ・横田地域も含めての話。そういうものをある程度示しながら議論をしてもらう。

	<p>地区別の協議会では、保護者には「自分たちの子どもにどれだけ良い教育を受けさせたいのか」を議論していただかなければならないと思う。基本的に子どもを育てる第一義は親。その想いを支えていくのが行政の役割。今、たぶん、親が子どものことを考える良い時期に来ているのだと思う。だからこそ反対も出る。(再編方針の)スタートは「どういうことだ!？」というところからだったかもしれないが、真剣に考えないといけないとどの親も思っている。基本的には2年くらいの話し合いでやっていただいて、その中で出てきた課題についてどう対処していくかという形だと思う。ある程度の期間というのは示さないといけない。いつまでもいいでは、いつまでもたっても進まない。</p>
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私もそう思う。今回この話が出てから保護者は「ええっ!？」というような思いを持って子どもの人数のこと、学校教育のこと、子どもの進学のこと本気で考えられた1年であったように思う。それを10年まで引っ張るというのは、「ウチは関係ないわ」という親が出てくる。そうではなくて、5年以内なら、今生まれた子も今小学生の子もこれはちょっといけないんじゃないかというような緊迫感と言うか、どうすればいいんだろうというような思いが出てくる。5～10年というのは、せっかくここまできたんだから、せっかく火がついたんだからそれを盛り上げていくというようなものがここ2～3年になるのではないかと思う。 ・高尾にしても鳥上にしても「もう再編しようじゃないか」と思ってる親御さんが大変なんじゃないかと思うんだけど、それが「いつになったらしてもらえるんだろう?」という気持ちに変わりつつある。そういう小さい学校もあり、全然でんと構えてウチは関係ないというような学校もあるんだけど、本当は関係があって、無関係ではない。それを考えてもらう仕掛けをしないといけない。小さい学校だけが考えれば良い問題じゃなくて、ウチは来てもらう側だからと思ってる学校こそ、考える必要がある。そういう思いを持ってほしい。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・修正の方針を示すのは、いつを考えているか。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・今の考え方で行くと、来月の定例会で方針を示させていただく。揉んでいただいた上で、自治会長会連合会、議会で方針を示させていただいた上で、その上でもう一回定例会で説明して、総合教育会議を経て、3月中にはこうなりましたということを議会で説明して公表するというようなスケジュールを想定。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・議員さんたちは地元優先の票を持って出ている議員さんなので、いろんな想いはあると思う。だが、本当に奥出雲の子ども達のことを考えてくださいという町のビジョン、教育のビジョンを福田先生が言われたような教育大綱に沿った、こういう子ども達にするには、これくらいの規模と設備があって、資格を持った教員がきちんといて・・・というような説明を議員さんたちにしっかりしていくことが大事。

	<ul style="list-style-type: none"> ・本当に目指す子ども像を作るためにはこういう教育が要る。資格を持った教員も要るし、子どもの人数も要る。学びあいを通じて力をつけてという何かそういう具体的なところを全員協議会でもいいから話を伝えてほしい。いろんな人の話を聞いてそう思う。地元利益のところではばかり話をされても困る。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・議員さんも視察で勉強してきている。全く分からないというわけではない。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・前の話（当初の再編方針提示）も唐突だったということを（議会で）言っている。議会にはきちんと説明しましたといえるようでないと。ただ、納得するかどうかは別の話。出所が不明な話がたくさん出てくる。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・（議員の）支持者はそれを信じる。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・修正方針の提案はそういった予断が生じないように進めたい。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会で方針を示して、自治会長会連合会、議会で方針を説明して、もう一回定例会で説明して、それを議会にも話をして、それで総合教育会議にかければいい。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAへの情報提供はどうするか。自治会長会連合会は全町的なもので、保護者は大事でどのタイミングがいいものか。協議会との関わりも含めて。本気になって考えてもらわないといけないところ。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・具体の進め方については、校区别協議会の前に、PTA保護者だけの説明の場を設けた方が良く思っている。議会からも提案いただいているところではある。進め方についても意見を頂いていきたい。そのためにも体制を整えて行きたい。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの住民に理解をえながら進めていく形を今考えているところ。提案の前には町連Pがいいのかどうかはわからないが、全保護者と言うわけにはいかないから、親に説明しておくのが良い。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的には町連Pの役員さんたちと会を持たせていただいて、そこからはじめるというのが現実的な進め方になる。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・役員が変わる時期ではある。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・春になると新規。2月なら今の人だが。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい方のほうが良いというところもある。

荒金委員	・町連Pは4月入ってから。
福田委員	・PTAの形が出来るのは5月になる。
荒金委員	・役員自体は既に決まっている。5月など年間の計画が立った後になる。
福田委員	・3月時点で伝えてあったほうが良い。
荒金委員	・途中だと「何のことだ？」が始まる。1年棒に振りかねない。
福田委員	・同じようなタイミングのところでされたほうが良いと思う。
塔村教育長	・町連P、小学校、幼稚園の保護者さんのところで、中間というか方針を説明しておくでよいか。
荒金委員	・今後のためにもそれが良いと思う。 (以上、質疑終了)
事務局	<p>*その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度の放課後児童クラブ（鳥上地区）について ・卒業式、卒園式の出席割り振りについて。 ・入学式、入園式については来月の定例会で配布予定。 <p>< 次回定例会は2月12日（水）午後3：00～ ></p> <p>(以上、定例会終了)</p> <p style="text-align: center;">会 議 録 署 名</p> <p style="text-align: center;">谷 尻 圭 子</p> <p style="text-align: center;">塔 村 俊 介</p>